



いよいよ2学期が始まりました。夏季休業中は少年団や部活動の指導、研修会や会議等、いつもとは違った忙しさがあったかと思えます。暑さももう少しづつくようです。お身体に気を付けてお過ごしください。

さて、7月に開催されました「学校間連携会議」と「ふらのフォーラム in さっぽろ」の内容をかいつまんでお知らせします。

H26年に整備し効果的であった備品について

学校間連携会議では、予算の運用について一定の共通項を見いだすため、各校の状況を調査し、交流を行っています。富良野市内の小中学校でH26年に新たに整備し、効果的であった施設設備・備品についてご紹介します。



すでに来年度予算要望作成に係わる取り組みが始まっています。予算要望書提出は、9月中旬です。来年度の要望はお早めに。

公立小中学校事務職員研修会 7月27日 ふらのフォーラム2015 in さっぽろ



7月27日、今回で5回目を迎えた「ふらのフォーラム2015」が札幌のホテルユニオンにて行われました。今年は『学校間連携が取り組むべき今日的課題』をテーマに、午前の部は上川管内公立小中学校事務職員協議会の中央ブロックのレポート発表、午後の部は、日本大学文理学部准教授 末富 芳さんの講演とパネルディスカッションが行われました。

第一部 中央ブロックレポート

「積み上げよう、交流しよう、高めあおう、私たちの教育環境整備」

学びと育ちの場の充実のため、人とのつながり(ひと的整備)に焦点をあてて教育環境整備に取り組んでいます。サイボウズLiveを利用した「上事協Web」の活用や様式の統一、取組みの記録化など、学校間の情報交流についての発表がありました。



第二部 講演 末富 芳 先生

「子どもの貧困と向き合う学校の役割を考える-公費による豊かな学びの保障と子どもたちのための協働-」



子どもの貧困問題は、年々深刻な状況となっています。家庭の状況を改善するために、教職員が丸抱えして頑張ってしまうケースが多い。専門性を有するスクールソーシャルワーカーの活用により学校をプラットフォーム(拠点)とし、子どもの問題を改善していくことが必要と説明されていました。

次回は、H28年度予算要望特集号です